

里山・広葉樹林再生プロジェクト第8回推進連絡会議概要

1 開催日時及び場所

日時：令和7年12月9日（火）10:00～16:40

場所：（現地調査）南東北木材株式会社（木材市場）

福島県二本松市館野地内 広葉樹林再生事業予定地

（推進連絡会議）福島県庁西庁舎3階 西326会議室

2 出席委員

委員名簿のとおり

3 会議の概要

福島県、福島県森林組合連合会、林野庁より議事の説明を行ったのちに意見交換。主な発言は以下のとおり。

（福島県）

- 再生プランの策定状況については、新たに福島市、いわき市が策定し、令和7年5月末時点で25市町村において策定済である。森林組合が実施主体の須賀川市などを含め、現在28市町村で取組を行っているところ。
- 県産広葉樹の有効利用に向け、材質特性および加工特性を把握し、樹種や径級に応じた最適な利活用を研究課題として取り組んでいく予定。
- 福島県の広葉樹材はこれまで主にチップ材として活用してきており、広葉樹材を用材として取り扱うための知見が不足している。今後の広葉樹材の利活用に向け、検討会の開催や市況情報の把握を通じ、広葉樹の高付加価値化を推進していく。

（福島県森林組合連合会）

- 県内各森林組合、福島県木材協同組合連合会等と連携し、広葉樹林再生事業で伐採する材の利活用に向け、造材方法の統一や径級に応じた運搬・加工先を確立し、広葉樹材の有効活用と安定供給に取組む。

（林野庁）

- 広葉樹林再生事業は右肩上がりで実績が増えており、市町村や森林組合にも周知されできている。令和8年度以降も計画的に伐採・更新を進めていくため、プランに基づき市町村と調整していく必要がある。

（以上）

「里山・広葉樹林再生プロジェクト」第8回推進連絡会議委員名簿

氏名	現職
まつもと 松本 純治	林野庁森林整備部研究指導課長
たけうち 竹内 学	林野庁林政部経営課特用林産対策室長
たんじ 丹治 俊宏	福島県森林組合連合会代表理事専務
まえだ 前田 洋	福島県木材協同組合連合会専務理事
ひらの 平野 尚巳	福島県農林水産部次長（森林林業担当）

(敬称略)

【オブザーバー】

氏名	現職
しのみや 篠宮 佳樹	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 戦略研究部門 震災復興・放射性物質研究拠点長
ながくら 長倉 淳子	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 戦略研究部門 震災復興・放射性物質研究拠点 チーム長
みうら 三浦 覚	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 戦略研究部門 震災復興・放射性物質研究拠点 非常勤研究助手

(敬称略)